

# アトサヌプリの噴火警戒レベル

—火山災害から身を守るために—

## 噴火警報等で発表する噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。
- アトサヌプリの噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。

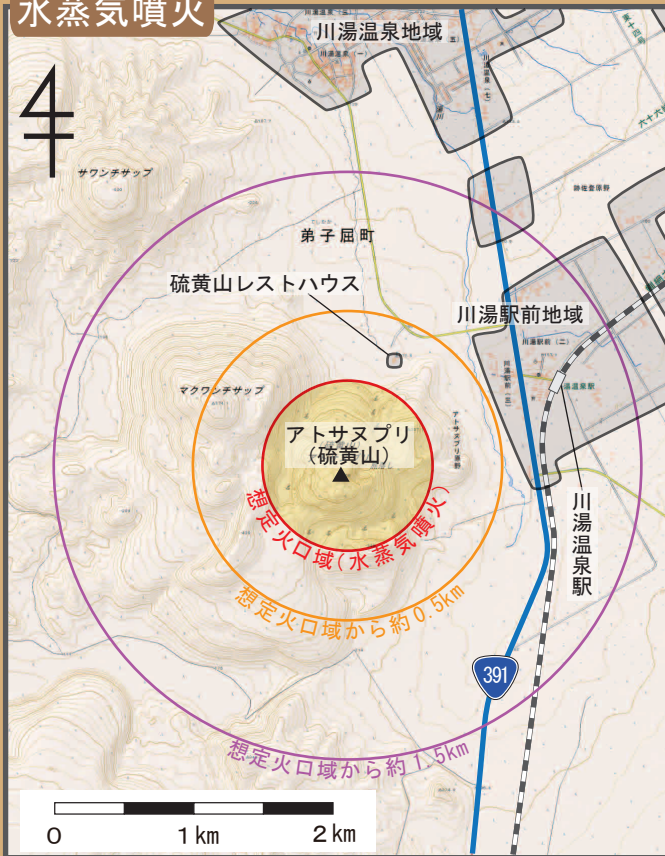
アトサヌプリの噴火警戒レベルは、地元自治体等で構成するアトサヌプリ火山防災協議会と調整して作成しました。各レベルにおける具体的な規制範囲については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については地元自治体にお問い合わせください。



## ■アトサヌプリ 噴火警戒レベルに対応した規制範囲

※マグマ噴火と水蒸気噴火で想定火口域や影響範囲が異なるため2種の地図を掲載しています。

### 水蒸気噴火



### 噴火警戒レベルに応じた防災対応

#### 【マグマ噴火】

レベル5（避難）

- 想定火口域から約6km以内の住民避難
- 想定火口域から約1.5km以内の住民避難

レベル4（避難準備）

- 想定火口域から約6km以内の住民避難準備

### マグマ噴火



### 噴火警戒レベルに応じた防災対応

#### 【水蒸気噴火】

レベル5（避難）

- 想定火口域から約1.5km以内の住民避難

レベル4（避難準備）

- 想定火口域から約1.5km以内の住民避難準備

レベル3（入山規制）

- 想定火口域から約0.5kmの立入規制等

レベル2（火口周辺規制）

- 想定火口域周辺への立入規制等

※この図は、国土地理院「地理院地図」を使用して作成しています。



本冊子は、植物油インクを使用しています。



問い合わせ先

札幌管区気象台 火山監視・情報センター

TEL: 011-611-2421 <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

釧路地方気象台

TEL: 0154-31-5110 <http://www.jma-net.go.jp/kushiro/>

アトサヌプリ火山防災協議会事務局：弟子屈町

TEL: 015-482-2191 <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

# アトサヌプリの噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<b>【マグマ噴火】</b> ● ベースサージや火砕流の発生など、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいはそのような噴火の発生が切迫している。 過去事例 約 6000 年前の噴火 (リシリの形成) 約 1500 年前の噴火 (硫黄山の形成)
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される (可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備、避難行動要支援者の避難等が必要。	<b>【水蒸気噴火】</b> ● 小規模な噴火が発生し、大きな噴石が火口から 1.5km 程度まで飛散。 過去事例 数百年前の噴火 (熊落し火口の形成)
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす (この範囲に入った場合は生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。(今後の火山活動の推移に注意) 避難行動要支援者の避難準備等が必要。 入山規制等、危険な地域への立入規制等。	● ごく小規模な噴火が発生し、大きな噴石がアトサヌプリ (硫黄山) 火口から 500m 程度まで飛散。 過去事例 なし ● 地震活動や熱活動の高まり等により、アトサヌプリ (硫黄山) 火口でごく小規模な噴火の発生が予想される。 過去事例 なし
			2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす (この範囲に入った場合は生命に危険が及ぶ) 噴火が発生すると予想される。	住民は通常の生活。(今後の火山活動の推移に注意) 火口周辺への立入規制等。	● 地震活動や熱活動の高まり等により、アトサヌプリ (硫黄山) 火口周辺に影響を及ぼす噴火の発生が予想される。 過去事例 なし
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる (この範囲に入った場合は生命に危険が及ぶ)。	住民は通常の生活。 状況に応じて想定火口域への立入規制等。	● 火山活動は静穏。 ● 山体深部へのマグマ供給を示す地殻変動 過去事例 1994 年 3 月 ~ 10 月の地震増加及び同時期の地殻変動

※ マグマ噴火の想定火口はアトサヌプリ (硫黄山) 及びマクワンチサップ周辺を想定している。  
 ※ 水蒸気噴火の想定火口はアトサヌプリ (硫黄山) を想定している。  
 ※ ここでの「大きな噴石」とは、上空の風の影響を受けずに弾道を描いて飛散する直径約 50cm 以上のものとする。  
 ※ 中規模以上の噴火に伴って火砕流 (若しくは火砕サージ) が発生した場合には、アトサヌプリ (硫黄山) やマクワンチサップから 6km 以内の範囲が影響する可能性がある。  
 ※ ベースサージとは、マグマと地下水が接触した場合に発生する横なぐりの火山灰や火山れきを含む爆風を言う。